



福井しあわせ元気国体 開幕！！ 和歌山県選手団 912.5点・第27位

入賞おめでとうございます！！

- ソフトテニス競技
成年男子
増田健人選手(和歌山県教育庁) 1位 40点
塩寄弘騎選手(和歌山県庁)
古賀崇史選手(きのかわ支援学校(教))
花田周弥選手(和歌山県庁)
上岡俊介選手(同志社大学1年)
- ボクシング競技
成年男子 フライ級 林田翔太選手(和歌山県庁) 1位 8点
バンタム級 村田昂選手(日本大学4年) 1位 8点
ライトヘビー級 田尻真也選手(和歌山県警察) 5位 2.5点
- ウェイトリフティング競技
成年男子 77kg級スナッチ 白草竜太選手(和歌山県庁) 7位 2点
少年男子 105kg級クリーン&ジャーク 藤谷柊選手(那賀高校3年) 2位 7点
85kg級クリーン&ジャーク 森本圭泉選手(那賀高校3年) 8位 1点
- 陸上競技
少年男子共通
三段跳 荒木基選手(和歌山北高校3年) 1位 8点

監督・選手からのコメント

○ 山下俊之監督(ソフトテニス競技:成年男子)

皆さんのおかげで優勝することができました。いつも支えてくれるサポートスタッフも含め、チーム一丸となって頑張った結果です。そして、選手の活躍が素晴らしかったと思います。また来年に向けて頑張ります。

○ 増田健人選手(ソフトテニス競技:成年男子)

過去2年負け続けた広島チームに勝つことが目標でした。優勝出来て本当に嬉しいです。

○ 塩寄弘騎選手(ソフトテニス競技:成年男子)

広島に負け続けてきたのでリベンジできて本当に良かったです。

○ 古賀崇史選手(ソフトテニス競技:成年男子)

みんなで勝ち取った優勝だと思います。ありがとうございました。

○ 花田周弥選手(ソフトテニス競技:成年男子)

とにかく嬉しいです。このチームに入って1年目なのでチームの力になれるよう、近畿ブロック予選から、みんなと同じ気持ちで頑張りました。

○ 上岡俊介選手(ソフトテニス競技:成年男子)

「打倒広島」を目標に頑張ってきました。皆さんの気持ちに応えることができ本当に良かったです。





監督・選手からのコメント

○ 齊藤正樹監督(ボクシング競技:成年男子)

2階級で優勝できたことは嬉しいですが、全体としては考えていたプラン通りに進めることができなかったところもありました。まだまだ伸びしろの大きい選手もいますので、来年は更に良い成績を出せるようがんばります。応援ありがとうございました。

○ 林田翔太選手(ボクシング競技:成年男子)

近畿ブロック大会では、初戦で負けてしまい迷惑をかけてしまいました。近畿ブロックを通過し国体に出場できたのは星さん田尻さんのおかげなので、みんなで掴んだ優勝だと思っています。来年もがんばります。ありがとうございました。

○ 村田昂選手(ボクシング競技:成年男子)

初めて国体に出場し、優勝という結果を残せたことがすごく嬉しいです。この4日間、試合が楽しくて楽しくて仕方がなかったです。これからもがんばります。応援ありがとうございました。

○ 田尻真也選手(ボクシング競技:成年男子)

今年はトレーニングをしっかりすることができ、体力的には十分だったのですが、同じ階級の選手が少なく実践不足で試合勘が鈍り、それが結果に出てしまい悔しいです。支えてくれた皆様に感謝しています。ありがとうございました。

○ 川畑源大監督(ウエイトリフティング競技)

予定より得点を獲得することができませんでしたが、今後、楽しみな選手がいますので、来年は今年を超えられるよう頑張ります。

○ 白草竜太選手(ウエイトリフティング競技:成年男子)

全日本トップクラスの選手がたくさんいる中、7位に入賞することができ嬉しかったです。来年は3位以内を目指して、また頑張ろうと思います。

○ 藤谷柗選手(ウエイトリフティング競技:少年男子)

インターハイでの屈辱を果たすために、1位を目指していましたが、2位という結果で悔しさが残る試合でした。大学でも競技を続けるので、日本一を目指し、これからも頑張ります。

○ 森本圭泉選手(ウエイトリフティング競技:少年男子)

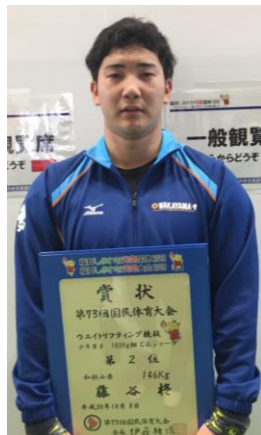
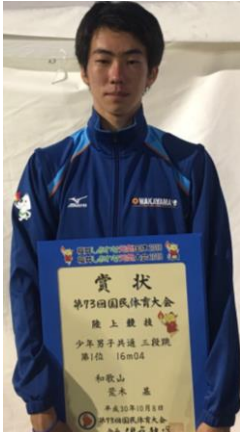
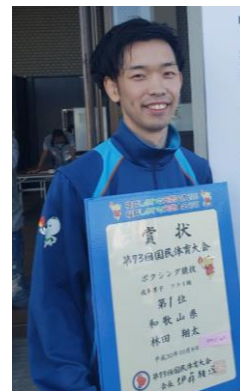
全国大会で初入賞できたことと、やっと川畑先生に恩返しができたことに、嬉しい気持ちです。これからも頑張ります。応援ありがとうございました。

○ 井上英典監督(陸上競技)

インターハイ予選で敗退し、出場出来なかった雪辱を晴らして優勝することができ、本当に良かったと思います。

○ 荒木基選手(陸上競技:少年男子)

インターハイに出場出来なかった悔しさを晴らすための国体だったので優勝できて本当に嬉しいです。しかし、日本高校記録(16m10)を跳ぶことが出来なかったので、次のU-20日本選手権で更新できるよう頑張りたいと思います。





第73回国民体育大会(福井しあわせ元気国体2018) 和歌山県選手団 高橋総監督 談話

「福井しあわせ元気国体2018」が冬季大会(スケート競技:1月28日～2月1日、スキー競技:2月25日～28日)、会期前競技(水泳・ハンドボール・クレ射撃競技:9月9日～17日)に引き続き、9月25日から10月9日までの計15日間にわたり本大会が開催され、本県選手団は、各競技において大いに健闘しました。

今大会は、男女総合成績10位台を目標に頑張ってきましたが、結果は、男女総合成績912.5点(競技得点522.5点+参加点390点)で第27位、女子総合成績は466点で第36位となりました。

獲得した競技得点の割合につきましては、個人競技が13競技266.5点(51%)、対人競技が8競技236点(45%)、集団競技が1競技20点(4%)となり、種別比較では、成年種別24種別313点(60%)、少年種別18種別181.5点(35%)、共通種別2種別28点(5%)となりました。男女別得点では、男子が386.5点(74%)、女子が136点(26%)となっています。

今回特に活躍した競技としましては、カヌー競技は成年男子がカヌースプリントカヤックシングル200m・500m、カヌースプリントカナディアンシングル200mの3種目で優勝するなど51点、フェンシング競技は成年女子フルーレ2位、成年男子フルーレ4位、少年女子4位に入賞し51点、自転車競技は成年男子個人ロード・レースで2位、女子チームスプリントで3位、少年男子ポイント・レースで3位入賞するなど44点、ソフトテニス競技は成年男子が優勝し40点、レスリング競技は少年男子フリースタイル65kg級で優勝するなど39点、剣道競技は成年男子4位、少年男子5位に入賞し37.5点を獲得し、総合成績に大きく貢献されました。

今回の福井国体では、和歌山国体以前から仕事と競技を両立させ高い競技力を維持し活躍している成年選手や、和歌山国体時に少年種別で出場した選手が成年種別の中心選手になり好成績を収めた競技がありました。また、入賞が期待された競技において、僅差で入賞を逃した競技も多くありましたが、来年の茨城国体に向けて大きく期待の持てる戦いとなりました。

県体育協会としましては、競技力の更なる向上を目指し、県競技力向上対策会議及び各競技団体とさらに連携して課題解決するとともに、国体選手のサポートをより一層推進してまいります。